

# 下水道使用料改定シミュレーション

【資料3-2】

※いずれのCASEも35%程度の使用料改定となり、2030年度における使用料収入は約66億円、使用料単価は約163円、経費回収率は約102%になります。

## 現行

料金表(1か月、税抜)

	汚水量(m <sup>3</sup> )	単価(円)
基本	-	560
従量使用料	1~8	0
	9~20	110
	21~30	140
	31~50	170
	51~100	200
	101~200	230
	201~500	270
	501~1,000	310
1,001~	345	

基本	28%	従量	72%
逓増度	4.42		

## CASE 1

- ・単価を一律約35%改定
- ・基本水量制を継続

料金表(1か月、税抜)

	汚水量(m <sup>3</sup> )	単価(円)	増加額(円)	改定率
基本	-	760	200	36%
従量使用料	1~8	0	0	-
	9~20	150	40	36%
	21~30	190	50	36%
	31~50	230	60	35%
	51~100	270	70	35%
	101~200	310	80	35%
	201~500	360	90	33%
	501~1,000	420	110	35%
1,001~	470	125	36%	

基本	28%	従量	72%
逓増度	4.43		

## CASE 2

- ・基本使用料を約80%改定
- ・基本水量制を継続

料金表(1か月、税抜)

	汚水量(m <sup>3</sup> )	単価(円)	増加額(円)	改定率
基本	-	1000	440	79%
従量使用料	1~8	0	0	-
	9~20	130	20	18%
	21~30	170	30	21%
	31~50	200	30	18%
	51~100	240	40	20%
	101~200	280	50	22%
	201~500	330	60	22%
	501~1,000	370	60	19%
1,001~	410	65	19%	

基本	37%	従量	63%
逓増度	3.25		

## CASE 3

- ・基本使用料を据え置き
- ・基本水量制を廃止

料金表(1か月、税抜)

	汚水量(m <sup>3</sup> )	単価(円)	増加額(円)	改定率
基本	-	560	0	0%
従量使用料	1~8	70	70	-
	9~20	130	20	18%
	21~30	160	20	14%
	31~50	190	20	12%
	51~100	220	20	10%
	101~200	260	30	13%
	201~500	300	30	11%
	501~1,000	340	30	10%
1,001~	380	35	10%	

基本	21%	従量	79%
逓増度	2.75		

## CASE 4

- ・基本使用料を18%改定
- ・基本水量制を廃止

料金表(1か月、税抜)

	汚水量(m <sup>3</sup> )	単価(円)	増加額(円)	改定率
基本	-	660	100	18%
従量使用料	1~8	30	30	-
	9~20	140	30	27%
	21~30	190	50	36%
	31~50	230	60	35%
	51~100	260	60	30%
	101~200	290	60	26%
	201~500	340	70	26%
	501~1,000	380	70	23%
1,001~	435	90	26%	

基本	24%	従量	76%
逓増度	3.68		

## CASE 5

- ・基本使用料を61%改定
- ・基本水量制を廃止

料金表(1か月、税抜)

	汚水量(m <sup>3</sup> )	単価(円)	増加額(円)	改定率
基本	-	900	340	61%
従量使用料	1~8	20	20	-
	9~20	130	20	18%
	21~30	160	20	14%
	31~50	200	30	18%
	51~100	240	40	20%
	101~200	270	40	17%
	201~500	320	50	19%
	501~1,000	360	50	16%
1,001~	395	50	14%	

基本	33%	従量	67%
逓増度	2.99		

使用水量別使用料(円/1か月税抜)

単身世帯	3~4人世帯	飲食店	工場・病院	大学・百貨店	モデルケース
8m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	500m <sup>3</sup>	2000m <sup>3</sup>	4000m <sup>3</sup>	使用水量
560	1,880	120,680	620,680	1,310,680	使用料
-	-	-	-	-	増加額
-	-	-	-	-	増加率
70	94	241	310	328	1m <sup>3</sup> 単価

使用水量別使用料(円/1か月税抜)

単身世帯	3~4人世帯	飲食店	工場・病院	大学・百貨店	モデルケース
8m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	500m <sup>3</sup>	2000m <sup>3</sup>	4000m <sup>3</sup>	使用水量
760	2,560	161,560	841,560	1,781,560	使用料
200	680	40,880	220,880	470,880	増加額
36%	36%	34%	36%	36%	増加率
95	128	323	421	445	1m <sup>3</sup> 単価

使用水量別使用料(円/1か月税抜)

単身世帯	3~4人世帯	飲食店	工場・病院	大学・百貨店	モデルケース
8m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	500m <sup>3</sup>	2000m <sup>3</sup>	4000m <sup>3</sup>	使用水量
1,000	2,560	147,260	742,260	1,562,260	使用料
440	680	26,580	121,580	251,580	増加額
79%	36%	22%	20%	19%	増加率
125	128	295	371	391	1m <sup>3</sup> 単価

使用水量別使用料(円/1か月税抜)

単身世帯	3~4人世帯	飲食店	工場・病院	大学・百貨店	モデルケース
8m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	500m <sup>3</sup>	2000m <sup>3</sup>	4000m <sup>3</sup>	使用水量
1,120	2,680	135,080	685,080	1,555,080	使用料
560	800	14,400	64,400	244,400	増加額
100%	43%	12%	10%	19%	増加率
140	134	270	343	389	1m <sup>3</sup> 単価

使用水量別使用料(円/1か月税抜)

単身世帯	3~4人世帯	飲食店	工場・病院	大学・百貨店	モデルケース
8m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	500m <sup>3</sup>	2000m <sup>3</sup>	4000m <sup>3</sup>	使用水量
900	2,580	153,080	778,080	1,648,080	使用料
340	700	32,400	157,400	337,400	増加額
61%	37%	27%	25%	26%	増加率
113	129	306	389	412	1m <sup>3</sup> 単価

使用水量別使用料(円/1か月税抜)

単身世帯	3~4人世帯	飲食店	工場・病院	大学・百貨店	モデルケース
8m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	500m <sup>3</sup>	2000m <sup>3</sup>	4000m <sup>3</sup>	使用水量
1,060	2,620	143,220	718,220	1,508,220	使用料
500	740	22,540	97,540	197,540	増加額
89%	39%	19%	16%	15%	増加率
133	131	286	359	377	1m <sup>3</sup> 単価

評価項目	◎○△	評価理由
少量使用者への配慮	◎	少量使用者の負担増は小さい。
多量使用者への配慮	△	多量使用者の負担増は大きい。
逓増度	△	逓増度は現状維持。
経営の安定性	○	基本使用料の割合は変わらず、収入の安定は現状のまま。

◎○△	評価理由
△	基本使用料が高く、少量使用者の負担増は大きい。
◎	多量使用者の負担増は小さい。
○	逓増度が下がる。
◎	基本使用料の割合が高まり、収入の安定につながる。

◎○△	評価理由
○	0m <sup>3</sup> 使用者は負担増なし。1m <sup>3</sup> 以上の使用者は、使用した分が負担増となる。
◎	多量使用者の負担増は小さい。
◎	逓増度がかなり下がる。
△	基本使用料の割合が低い。ただし8m <sup>3</sup> 以下の使用者からも従量使用料を徴収するため、ある程度、収入は安定する。

◎○△	評価理由
○	少量使用者の負担増は比較的小さい。
○	多量使用者の負担増は比較的小さい。
○	逓増度が下がる。
△	基本使用料の割合が低い。ただし8m <sup>3</sup> 以下の使用者からも従量使用料を徴収するため、ある程度、収入は安定する。

◎○△	評価理由
△	基本使用料がやや高く、少量使用者の負担増は大きい。
◎	多量使用者の負担増は小さい。
◎	逓増度がかなり下がる。
◎	基本使用料の割合が高まり、8m <sup>3</sup> 以下の使用者からも従量使用料を徴収するため、収入の安定につながる。

CASEごとの使用水量別使用料(円/1か月税抜)

